



## 感染症サーベイランスオフィサープログラム (Surveillance Officer Program/SCOP)

### プログラムの目的

自治体において感染症サーベイランスを有効に活用するために、データの収集から分析・還元までの一連の流れ(サーベイランスループ)を習得して「サーベイランスオフィサー」として活躍できる専門的人材を育成して、ネットワークを広げていきます。

### プログラムの到達目標

サーベイランス基礎知識の習得: 感染症サーベイランスの意義と仕組み  
データ収集・整備技術の習得: 報告システムと検査データの取扱い  
異常検知と対応の演習: 疫学的手法によるサーベイランスアラートの習得  
情報還元: データの視覚化、報告書の作成  
ネットワーク構築: サーベイランスオフィサーをハブとしたネットワーク

### 開催概要

時期: 2026年9月28日～10月9日(水曜休講、最終2日間はオンサイト)  
研修形式: ハイブリッド(オンライン+オンサイト: 国立感染症研究所戸山庁舎)  
対象者: 原則として自治体職員(感染症サーベイランス担当または興味のある方)  
募集人数: 35名  
参加条件: 表計算ソフト(Excel等)をインストールできるノートパソコンを演習時に準備できること

## プログラムスケジュール

日程	内容(予定)
1週目 講義形式(オンライン可) 演習(オンライン可)  ※9:00~16:30頃を予定 ※水曜休講	<ul style="list-style-type: none"><li>• 感染症の基礎知識</li><li>• 感染症サーベイランスの基礎知識</li><li>• 感染症法と発生動向調査</li><li>• 感染症におけるサーベイランス各論（呼吸器感染症、消化器感染症、ワクチン予防疾患、昆虫媒介性感染症）</li><li>• 健康危機時の感染症サーベイランス</li><li>• リスクコミュニケーション</li></ul>
2週目 講義形式(オンライン可) 演習(オンサイトのみ)  ※9:00~16:30頃を予定 ※水曜休講	<ul style="list-style-type: none"><li>• 感染症におけるサーベイランス各論（性感染症、薬剤耐性菌、輸入感染症、動物由来感染症）</li><li>• サーベイランスデータの解析と還元</li><li>• ケーススタディ</li><li>• グループワーク</li><li>• パネル討論</li></ul>

**参加申込:**指定フォームよりお申し込み下さい。7月頃にご案内する予定です。

**お問い合わせ:**国立感染症研究所感染症サーベイランス研究部情報管理研修室

担当:大谷可菜子、稲葉秀子、神垣太郎

✉scopout@nih.go.jp ☎03-5285-1111